

目黒区美術館コレクション展
コレクションの<現在>^{いま} — 絵画・彫刻・版画
+ 特集展示 鈴木省三の絵画

2019年2月16日(土)～3月24日(日) 目黒区美術館

午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで) 月曜休館
一般600(450)円、高大生・65歳以上450(350)円、小中生以下無料
()内は20名以上の団体料金、障がいのある方は半額・その付添者1名は無料
目黒区在住・在勤・在学の方は受付で証明書類のご提示で団体料金になります

主催：公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
協力：小島びじゅつ室



① 篠田教夫 <海辺の断崖II> 2003-07年
鉛筆、消しゴム、水彩・ケント紙/
65.0×48.0cm / 目黒区美術館蔵

企画展の開催や作品展示をきっかけに目黒区美術館がコレクションに加えてきた作品の中から、1980年代以降の現代美術を取り上げます。

現代彫刻の青木野枝、多和圭三、
鉛筆による細密絵画の篠田教夫、寺崎百合子、
版画の井田照一、写真の山中信夫の作品ほかを紹介します。

また、「色」をテーマにしたシリーズ展覧会『色の博物誌』の
「緑—豊潤な影」(2001年)、「黄—地の力&空(くう)の光」(2004年)の
出品作家・鈴木省三の絵画を特集展示します。

概要

コレクションの<いま>—絵画・彫刻・版画

目黒区美術館は、近現代美術の流れとその特徴を理解するための体系的なコレクションを形成していくという基本方針のもと、特に日本人画家と欧米との関わりに焦点をあてた作品収集を、まだ美術館が開設準備室だった 1981 年から始めました。そして 1987 年の開館以来、さまざまな視点で近現代美術を切り取り、展覧会としてまとめると同時に、毎年「所蔵作品展」という形でコレクションを紹介しています。当館のコレクションは、基本方針に沿って購入した作品だけでなく、作家自身や遺族、所蔵家の方々からのご厚意による寄贈等でさらに充実したものへと成長してきました。

本展は、企画展の開催や作品展示をきっかけに当館がコレクションに加えてきた作品の中から、主に 1980 年代以降の現代美術を取り上げます。現代彫刻の青木野枝・多和圭三、鉛筆による細密絵画の篠田教夫・寺崎百合子、版画の井田照一、写真の山中信夫の作品ほかを紹介します。



② 青木野枝 《Untitled》 1994 年／鉄／7 点組 各径 121.0× 高 300.0cm / 目黒区美術館蔵 / photo: 山本紉



③ 多和圭三 《景色—境界—》 2008 年／鉄／2 点組 10.1×291.5×298.5cm、12.5×291.5×298.5cm / 目黒区美術館蔵 / photo: 山本紉



④ 山中信夫 《マンハッタンの太陽 19》 1980 年 / ビンホール写真 / 20.4×25.4cm / 目黒区美術館蔵



⑤ 鈴木省三 《地面からの空—IV》 1997 年 / 油彩、オイルスティック、リキッドゴム・キャンバス / 180.0×130.0cm / 個人蔵

特集展示 鈴木省三の絵画

鈴木省三は、1979 年の初個展以来、一貫して、絵画とは何か、を常に考え新しい挑戦を試みつづけている画家です。

目黒区美術館では、「色」をテーマにした展覧会『色の博物誌』シリーズの中で、2001 年開催の「緑—豊潤な影」展と 2004 年の「黄—地の力&空(くう)の光」展で鈴木省三の絵画を取り上げました。この作品展示をきっかけに、2018 年度に「黄」展出展の《地面からの空—IV》のほか、両展に出展された作品シリーズの中から《静かな呼吸—I》(1994-95 年)、《森—II》(1983 年)が新たに当館のコレクションに加わることとなりました。

本展では、この大型作品 3 点を中心に、油彩、水彩など、合わせて約 20 点を特集展示します。

関連催事

大人のための美術カフェ ＜特別編＞ 美術トーク 鈴木省三の絵画の愉しみかた

「大人のための美術カフェ」は、展覧会担当学芸員が展覧会や所蔵作品について気軽におしゃべりする場として、数年前から継続的に開催している催しです。毎回、レクチャーやギャラリートัวร์、関連資料などを一緒にじっくり見ながら等、その形式は担当者により様々な方法で行っています。

今回のコレクション展では、特集展示する画家・鈴木省三さんの作品の屈指のコレクターであり、本展にも貴重な作品群をご出展いただいた小島静二さんをお招きし、鈴木省三さんの絵画について、作家とのエピソードなども交えてお話しいたします。

美術トーク「鈴木省三の絵画の愉しみかた」

ゲストスピーカー： 小島静二氏（小島びじゅつ室主宰）

日時： 2019年3月9日(土) 15:00～16:30

場所： 目黒区美術館 展示室（特集展示をする展示室内を予定しています）

定員： 50名(予定)

聴講料： 無料（ただし当日有効の展覧会観覧券が必要です）

※ 参加要項・詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

workshop

同時期開催： ワークショップ「美術を見る・知る」

開館以来、多くの方に親まれてきた当館のワークショップ。今回は「美術を見る・知る」をテーマにさまざまな講座を開催いたします。

これまで美術表現をめぐる技法・材料について取り上げましたが、今回は1992年と2012年に専門的な講座として開催し大変好評だった《古典技法への旅》の第三弾を予定しています。その他、五感をフルに使いながら、美術や表現することを楽しむ子ども向けのコースなどを予定しています。

※ ワークショップ「美術を見る・知る」の各コースは、事前申込制です。

講座の詳細、募集要項等は、順次当館ウェブサイトでお知らせいたします。

開催情報

タイトル	目黒区美術館コレクション展 コレクションの<現在> ^{いま} —絵画・彫刻・版画
会 期	2019年2月16日(土)–3月24日(日)
会 場	目黒区美術館 (東京都目黒区目黒 2-4-36)
開館時間	午前10時–午後6時(入館は午後5時30分まで)
休 館 日	月曜日
観 覧 料	一般 600(450)円、高大生・65歳以上 450(350)円、小中生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金、障がいのある方は半額・その付添者1名は無料 ※目黒区在住・在勤・在学の方は受付で証明書類のご提示で団体料金になります
主 催	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
協 力	小島びじゅつ室
交通機関	JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線＝目黒駅下車徒歩10分 東急バス＝権之助坂(目黒通り)下車徒歩5分、田道小学校入口(山手通り)下車徒歩3分

広報写真

本リリース掲載の写真画像の一部を本展広報用写真としてご提供いたします。図版の左下①～⑤が図版番号です。
ご希望の方は、申込用紙(5ページ目)の内容をご確認の上、必要事項をお書き添えいただき、FAXでお申し込みいただくか、
同内容を本展担当者宛メールにてお申し込みください。

本展の問い合わせ先

目黒区美術館 展覧会担当(学芸) 佐川 / 広報担当(事務) 丸
〒153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36 tel. 03-3714-1201(代) fax. 03-3715-9328
e-mail: mmatoffice@mmat.jp http://www.mmat.jp

宛先：目黒区美術館 [担当] 佐川・丸 宛て
 FAX：03-3715-9328 E-mail：mmatoffice@mmat.jp

■ 本票に必要事項をご記入のうえ、上記宛先まで FAX でお申し込みいただくか、メールにて本票と同内容の事項とご希望の画像番号をお知らせ下さい。掲載紙・誌を1部ご寄贈くださいますようお願い申し上げます。

お申し込み日	年 月 日		
御社名			
ご担当者氏名			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
掲示媒体名 (雑誌名など)			
メディアの形態	【紙媒体】 新聞 / 雑誌 / ミニコミ誌 / フリーペーパー / その他 () 【電子媒体】 テレビ / ラジオ / WEB サイト / 携帯サイト / その他 ()		
発行・放送予定日	年 月 日		
ご希望の画像	図版番号 ①～⑤のご希望の図版番号をご記入ください	使用条件等 *写真画像への文字載せは不可です。 *写真の画像加工(トリミング・色調整など)は不可。但し、モノクロで使用の場合は、コントラスト、ガンマ値の適宜調整を許可する場合があります。 *キャプション、クレジットは必ず明記してください。	
連絡欄			

■ お申し込み受け付け後、画像データ(JPEG)のダウンロード先を返信でお知らせいたします。お手元の環境等によりダウンロードできない場合は別途ご連絡ください。

■ 使用にあたっては、【広報用画像について】の内容をご了承いただくことが条件となります。必ずご確認くださいませようお願いします。

【広報用画像について】

- 画像データはメールにて送付いたします。
- 画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- データを第三者に渡すことは禁止いたします。
- 使用後、データは破棄してください。
- 展覧会の名称、期間、会場などの情報は分かりやすく掲載してください。
- 画像への文字載せは不可です。
- 画像使用の際は、キャプション、クレジットを明記してください。
- 掲載誌(紙)は1部、当館担当者までお送りください。
- Web サイトは公開後に URL をお知らせください。
- 当館が掲載内容を確認できるように、掲載前に校正をお送りください。

◎ 本展を紹介して下さる媒体には、展覧会の招待券(5組10名様)を読者プレゼント用に提供いたします。ご希望の方は下記にご記入ください。

読者プレゼント用招待券を [希望する ・ しない]

<広報用画像に関する問い合わせ先>

目黒区美術館
 TEL.03-3714-1201 / FAX.03-3715-9328
 展覧会担当(学芸)：佐川
 広報担当(事務)：丸